

(仮称) 国際センター駅北地区複合施設 基本設計(中間案)等について

令和7年11月
まちづくり政策局・文化観光局

■目次

1. 施設整備の趣旨・基本理念等	……	P3
2. 整備概要等	……	P4
3. 設計コンセプト	……	P5
4. 設計概要	……	P8
5. 事業実施例	……	P18
6. 建設工事費の見込み	……	P21
7. 施設がもたらす効果	……	P22
8. 今後のスケジュール	……	P23

【参考資料】平面図	……	P24
-----------	----	-----

1. 施設整備の趣旨・基本理念等

「楽都」「劇都」としての蓄積、東日本大震災から立ち上がってきた経験を基盤に、文化芸術と災害文化が融合する世界に類のない施設として、未来をより豊かに生きるための仙台ならではの創造・発信を行う、杜の都の新たなシンボルを目指す

基本計画に掲げる基本理念

人・文化・まちを育む創造の広場

～文化芸術と災害文化がつなぐ、人と人、過去と未来、仙台と世界～

◆目指す施設像

- ① 人と人との交流を通し、新しい文化的価値が生まれる場
- ② 過去に学び未来を創る、新たな都市文化の創造・発信の場
- ③ 文化のネットワークを形成し、多くの人が訪れたくなる場

2. 整備概要等

■敷地概要

項 目	内 容
所在地	仙台市青葉区青葉山 2番1、2番4、2番5
敷地面積	約18,700㎡
用途地域	第二種住居地域
特別用途地区	文教地区
建ぺい率	60%
容積率	200%

■建築概要

項 目	内 容
階数	地下2階、地上4階
建築面積	約10,500㎡
延床面積	約27,400㎡
構造	RC造、S造
建物高さ	29.5m(高さ制限30m以下)
駐車場台数	一般用 約90台 ほか関係者用駐車場



■竣工・開館時期

令和13年度(2031年度)

3. 設計コンセプト

コンセプト：たくさんの/ひとつの 響き

多様な活動が共存し響き合うこと(たくさんの響き)と、それらが時にはひとつにつながる(ひとつの響き)で連鎖していき、人と人、過去と未来が結びつく。

文化芸術と災害文化が多層的に交わる空間の中で、まちを豊かで強靱にする仙台ならではの文化を創造し、世界に向けて発信する。

「たくさんの響き」のための設計

文化芸術や災害文化の活動をする人、鑑賞や見学に訪れる人、施設でゆっくりと過ごす人など、多様な目的や思いを持った、たくさんの人々が共存できる場所がある。
そうした活動の息づかいを互いに感じられる空間とすることで、緩やかなつながりが日常的に生まれる。

「ひとつの響き」のための設計

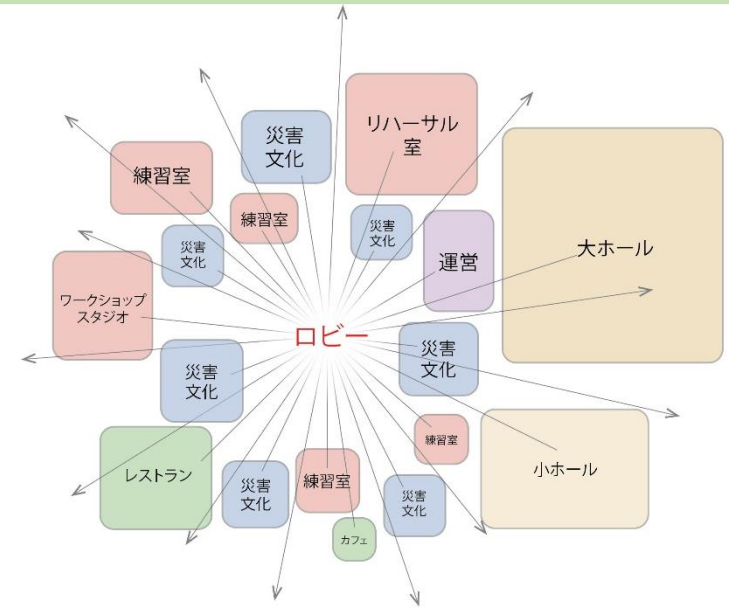
3. 11などの特別な日には、施設全体を使って、参加者が一体感を感じられるイベントが展開でき、それぞれの震災の記憶や、仙台で積み重ねられてきた多彩な活動がひとつにつながる。

3. 設計コンセプト

1階の交流イベントロビーと、各階の床(スラブ)で立体的に構成される**吹き抜け空間**がこの施設の中心となり、様々な諸室・機能・居場所が吹き抜けに接するように配置する。

優れた音響性能・舞台性能を備え、クラシックコンサートやオペラなど本格的な文化芸術体験の場となる大ホールと、吹き抜け空間を中心として、気軽に訪れ、多様な活動に触れることができる文化芸術・災害文化・広場のエリアが共存する施設とする。

→多様な目的を持った人々や活動が交わり、共鳴することで、新たな文化を創造する土壌が生まれる



3. 設計コンセプト

【吹き抜け空間の意義・効果】

① 多様な来館者を包摂する

- ・中央の吹き抜け空間に対して様々な距離感で床(スラブ)を設け、階段状の居場所や、天井が低く落ち着く場所、天井が高く開放感のある場所など、ひとりひとりにとっての「居心地の良い場所」を提供する。

② 活動の息づかいを感じさせる

- ・1階の交流イベントロビーを、プロ・アマを問わない様々なパフォーマンスや、自由な発想による多彩な活動・イベントが展開される場とする。
- ・これに加え、ワークショップスタジオ、工作工房、市民活動スペース、交流スペース、練習室などで様々な活動があり、それらが吹き抜け空間を介して各階から見えることで直接的・間接的な交流や一体感を生む。

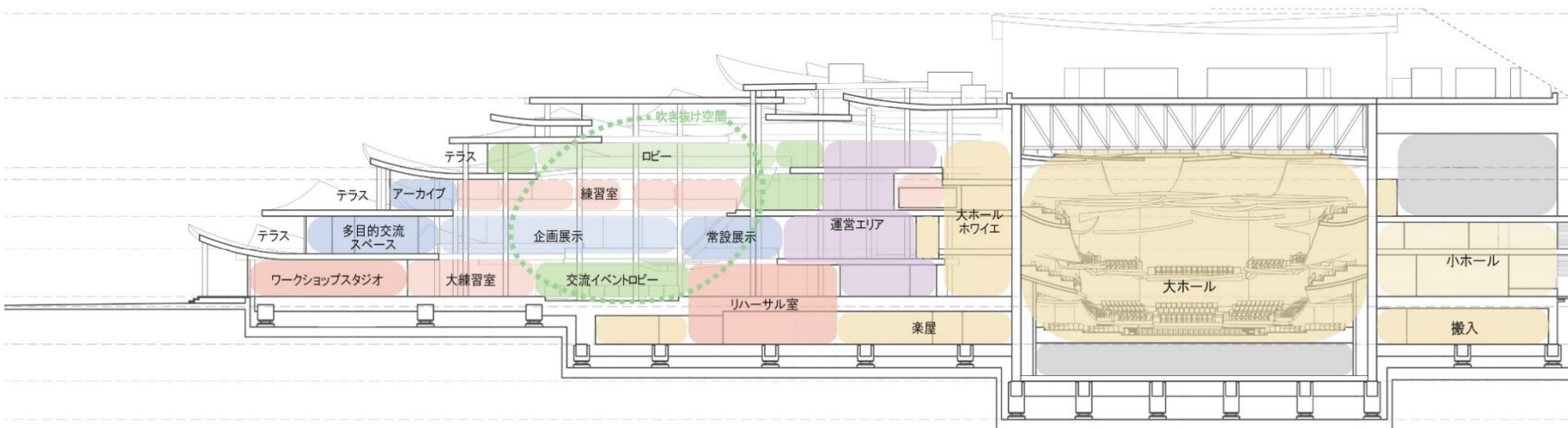
③ 施設に求心力をもたらす

- ・吹き抜け空間は、誰もが気軽に訪れられる憩いの場であるとともに、文化芸術と災害文化の融合の象徴的空間として、特別なイベントにおいて人々をつなぐ役割を発揮する。
- ・施設に円環構造を形づくることによって、施設内を巡り、滞在したくなる魅力を生み出し、その空間自体の魅力で国内外から多くの人を惹きつける。

4. 設計概要

①施設構成

エリア	主な諸室
ホールエリア	大ホール(2,000 席規模)、小ホール(350 席程度)
文化芸術エリア	リハーサル室、練習室(大・中・小)、ワークショップスタジオ 等
災害文化エリア	常設展・企画展スペース、多目的交流スペース、市民活動スペース、ゲートウェイスペース、工作工房、アーカイブライブラリー
広場エリア	交流イベントロビー、クワイエットスペース、屋外広場 等
運営エリア	施設管理者事務室 等
共通エリア	トイレ、関係者駐車場 等



国際センター駅側
(南側)

仙台第二高等学校側
(北側)

4. 設計概要

①施設構成



4F

大ホール・ホワイエ/クワイエットスペース/事務室

3F

大ホール/小ホール・ホワイエ/練習室
/アーカイブライブラリー/事務室

2F

大ホール・ホワイエ/小ホール・楽屋
/ゲートウェイ/常設・企画展示
/多目的交流スペース/市民活動スペース
/事務室

1F

大ホール・ホワイエ/交流イベントロビー
/リハーサル室/大練習室/ワークショップスタジオ
/レストラン/工作工房/事務室

B1F

大ホール・楽屋・搬入口/リハーサル室・控室
/関係者駐車場

4. 設計概要

②外観

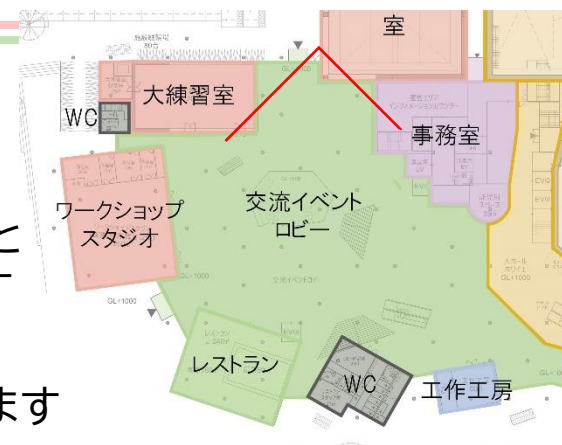
- ・屋根を分節し、周辺の木々とスケール感を近づけることで、施設の高さや大きさに伴う圧迫感を低減し、青葉山エリアの景観との調和を図ります
- ・庇(ひさし)を深く張り出し、日差しの遮蔽を高めるとともに、屋内と屋外が連続する開放的な環境を確保します



4. 設計概要

③1Fフロア

- ・多様な活動を展開できるワークショップスタジオ、屋外の活動とも連動できる工作工房、大練習室、レストランなどを配置します
- ・誰もが気軽に憩える場、多様な活動やイベントが展開される場であり、“吹き抜け空間”の要となる交流イベントロビーを設けます



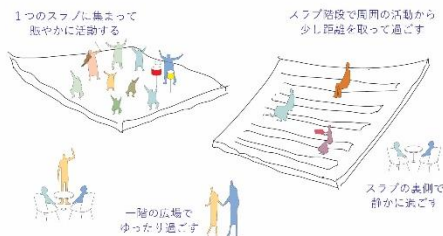
4. 設計概要

③1F・交流イベントロビー

- ・あらゆる諸室が面するロビーで、文化芸術と災害文化が日常的に交わります
- ・誰もが気軽に立ち寄り、居場所を見つけられる”開かれた広場空間”とします
- ・ロビーの中央には、日常の「居場所」となり、イベント開催時には賑わいの中心となる
少しくぼんだ広場空間を設けています

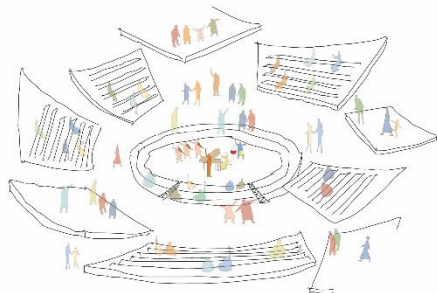
・ 日常利用

様々な活動が集まるロビー空間で、来館者が自らの居場所を選択し、過ごすことができます。



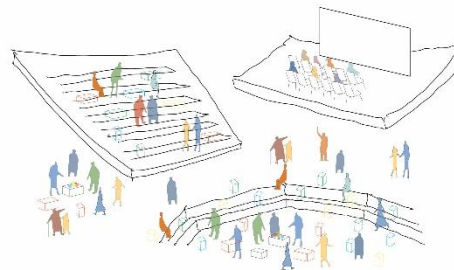
・ ロビーコンサート

ロビーコンサートやメモリアルコンサートなど、来館者みんなで一体となることができる空間とします。



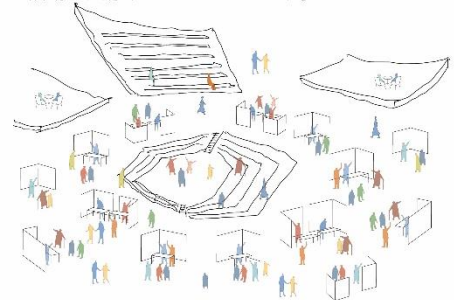
・ 災害文化フォーラム

災害文化の展示空間を拡張して、ロビー全体、施設全体でイベントができる空間とします。



・ MICE、学会イベント

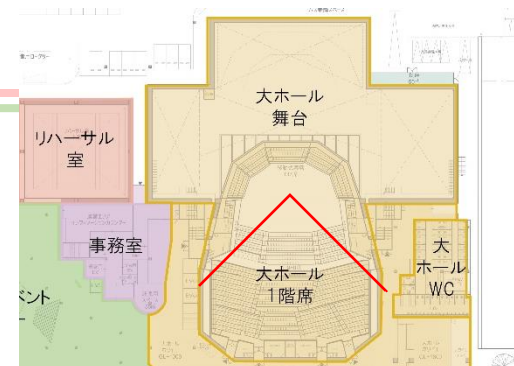
大規模イベントに対応できる十分な空間を用意し、その他の活動も共存するロビーにします。



4. 設計概要

④大ホール（舞台・楽屋:B1F、客席:1F～）

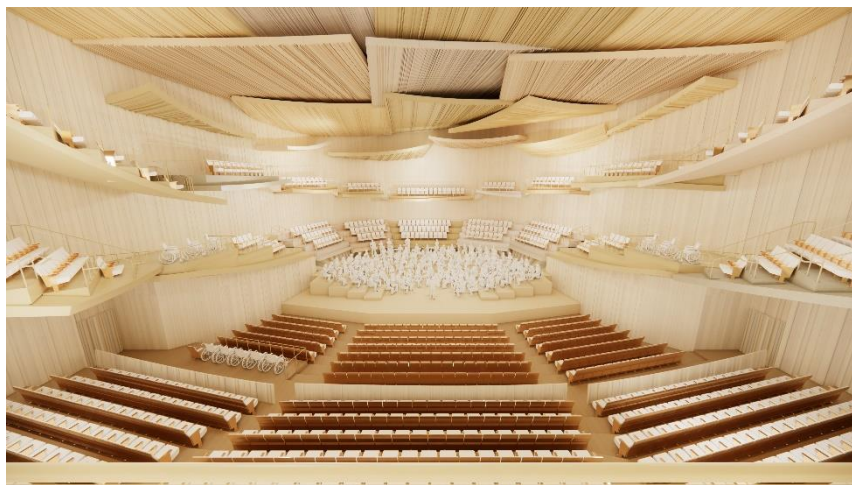
- ・生の音に対する優れた音響性能を持つ、2,000 席規模のホール
- ・施設全体の設計コンセプトと調和しつつ、コンサートホールと劇場 それぞれにふさわしい空間、内装とします



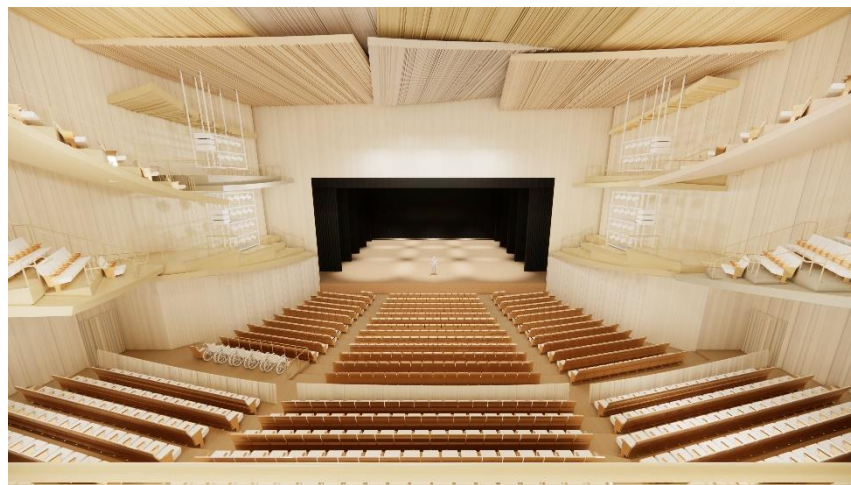
4. 設計概要

④大ホール（舞台・楽屋：B1F、客席：1F～）

- ・舞台は、クラシック音楽の演奏に適した「コンサートホール形式」と、オペラ・バレエなど多様な舞台芸術の上演に適した「プロセニウム劇場形式」の2つの形式に転換可能です
- ・コンサートホール形式は、舞台のまわりを客席が取り囲み、演奏者と鑑賞者が一体感を感じられる「サラウンド型」となることが特徴です
- ・オペラ・バレエ・演劇等、本格的な舞台芸術作品の上演が可能な舞台設備を備えます



コンサートホール形式時の舞台

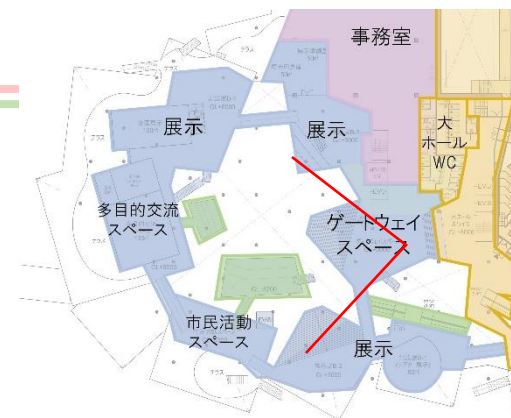


プロセニウム劇場形式時の舞台

4. 設計概要

⑤2Fフロア

- ・円環構造を生かし、どこからでも災害文化に触れることができるよう展示や活動スペースを配置します
- ・市民が自由に活動できるスペースや、最大100人規模のセミナーにも対応可能な多目的交流スペースを配置します



4. 設計概要

⑥3Fフロア

- ・市民の日常的な文化芸術活動の場として、多彩な利用を想定した練習室を配置します
- ・災害記録写真や関連資料の収集や活用を行うアーカイブライブラリーや、自由に資料を閲覧できるスペースを配置します



⑦4Fフロア

- ・来館者が自由に利用できるスペースや休憩スペースを設け、仙台城跡や市中心部を眺めるテラスを複数配置します
- ・心を落ち着け、静かに想いを巡らすことができる「クワイエットスペース」を配置します



⑧小ホール（舞台・楽屋：2F、客席：3F）

- ・生の音の響きを重視し、演劇、舞踊、演芸など、様々な舞台芸術にも利用できる約 350 席のホールとします



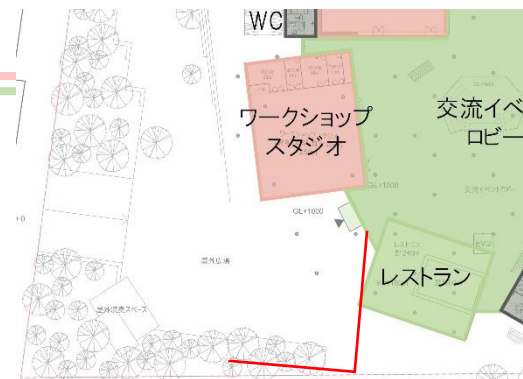
⑨リハーサル室（B1F）

- ・音楽と舞台芸術の双方に対応した機能を備え、大ホール公演のリハーサルのほか観客数200名程度の発表会の利用も想定した空間とします

4. 設計概要

⑩屋外エリア

- ・屋外での演奏などの活動ができる屋根付きのスペースを整備するほか、キッチンカーの配置や様々なイベントができる広場も確保します
- ・バス乗降スペースやロータリーの設置のほか、利用者用の駐車場を約90台備えます

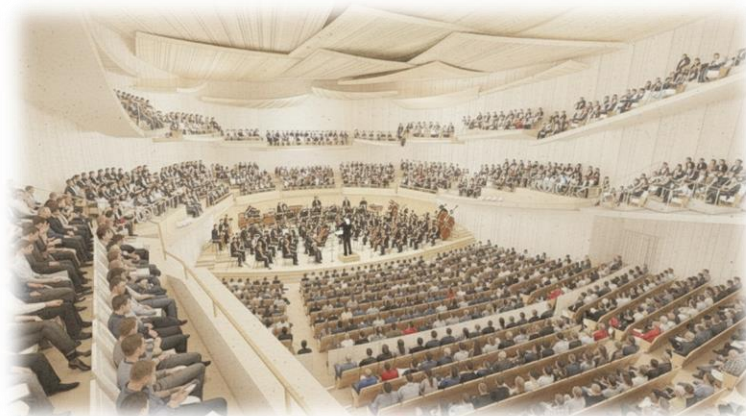


5. 事業実施例

① 文化芸術事業 ※事業の一部イメージ

◆「文化芸術の創造発信」事業

- ・市民とプロがともに参加し、地域の文化芸術の発展につながる舞台芸術作品の創作
- ・良質な舞台芸術作品(クラシック・オペラ・バレエ・ミュージカル・演劇等)の上演
- ・震災や災害文化、この地域ならではの資源にスポットを当てた公演企画 など



◆「文化芸術力の発揮」事業

- ・こどもたちの感性や能力を育むワーク
ショップ・アウトリーチ
- ・障害者、高齢者、外国人など、様々な人に
文化芸術体験の機会を提供するワーク
ショップ・アウトリーチ など

5. 事業実施例

② 災害文化事業 ※事業の一部イメージ

◆「災害文化の認知」事業

- ・常設展、企画展
- ・被災と復興にかかる証言の収集と発信、災害資料のアーカイブ運営
- ・災害・防災に関する各種講座、講演、映画等の上映会、語り部、朗読会 など



◆「災害文化の創造」事業

- ・多様なステークホルダーが参加するワークショップ
- ・産学官民の協働による課題解決プログラム
- ・参加型防災プログラム、屋外空間を活用したアウトドア企画、救助などのスキルアップ講座・研修 など

5. 事業実施例

③ 連携・協働事業(全館事業) ※事業の一部イメージ

◆「3.11」という特別な日を共有する

- ・3.11メモリアルプロジェクト
(フォーラム、メモリアルコンサート等)
- ・文化芸術の視点も交えた、東日本大震災と
これからの災害への向き合い方を語り合う
場 など



◆誰もが気軽に訪れ、活動する場所となる

- ・広場エリアでの人を呼び込むイベント
(ロビーコンサート、パフォーマンス、マルシェ、
施設案内ツアー等)
- ・市民発プロジェクト
(文化芸術や災害文化に留まらない、多様な
施設の活用を促進)
など

6. 建設工事費の見込み

■建設工事費(概算)

548億円 程度

- ※基本設計時点(令和8年3月末)での見込みであり、今後の物価上昇分は含まれない
- ※外構工事費および土壌汚染対策費等を除く

➡ **引き続き設計内容の協議を進め、建設工事費の精査を進めます**

(財源について)

- ・地方財政措置制度のある地方債の活用やふるさと納税による資金の調達など、実質的な本市の財政負担の軽減が図られるよう努めていきます

7. 施設がもたらす効果

■経済波及効果額等

年間来場者数(想定)	約54万人	うち県外からの来場者約4万人
------------	-------	----------------

(主な内訳)

大ホール

約29万人

小ホール

約6万人

震災メモリアル拠点

約8万人

経済波及効果額(推計)	約47億円	(県内・年額)
-------------	-------	---------

※施設運営や来場者の消費により誘発される生産額と、それに伴う波及効果の推計

※他都市類似施設の運営状況等を参考に、運営・事業費を約18億円/年と想定して推計

■社会的価値の創出

- ・仙台の文化芸術環境を引き上げ、豊かに生きられるまち・人材が集うまちを実現
- ・災害文化の創造と内外への発信・普及により、災害から立ち上がる力を涵養
- ・文化芸術と災害文化の融合による新たな都市個性の獲得により、都市としての魅力を向上
- ・仙台ならではのコンセプトを体現する独自性の高い建築により、新たなランドマークを創出
- ・社会包摂の推進と将来世代の育成により、誰もが活躍できる社会を実現

8. 今後のスケジュール

■市民説明会

日 時:12月14日(日)12:30~14:30

会 場:日立システムズホール仙台 交流ホール

参加人数:先着200名(要事前申込)

応募方法:下記の方法にて受付

電子申込・・・<https://logoform.jp/form/3PrJ/1128449>

電話申込・・・022-214-6139

(文化観光局青葉山エリア複合施設整備室)

そ の 他:後日「せんだいTube」にて配信



<申込フォーム>

■関係団体へのヒアリング

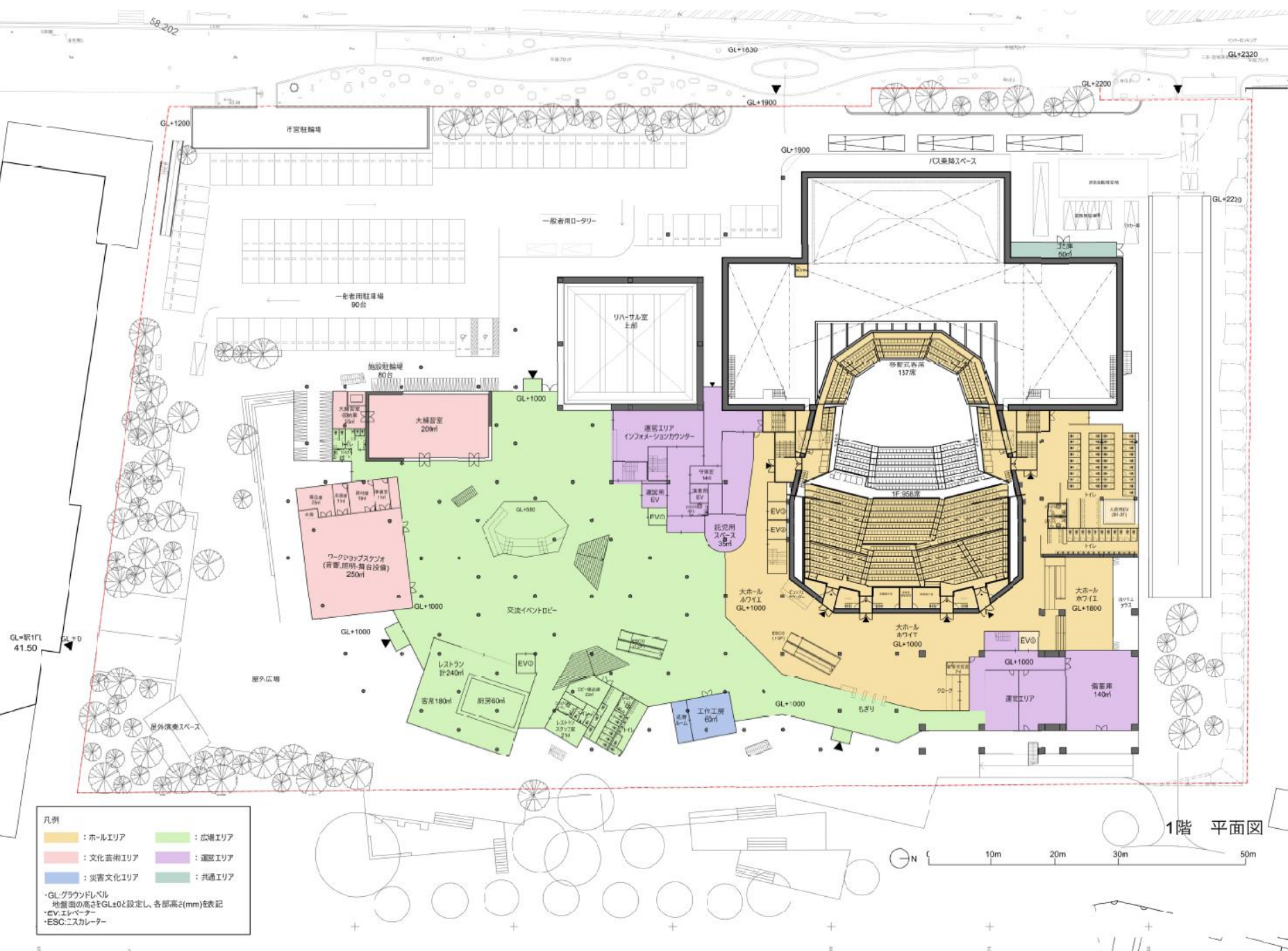
11月下旬以降、音楽関係者や市民活動団体などと意見交換を行う

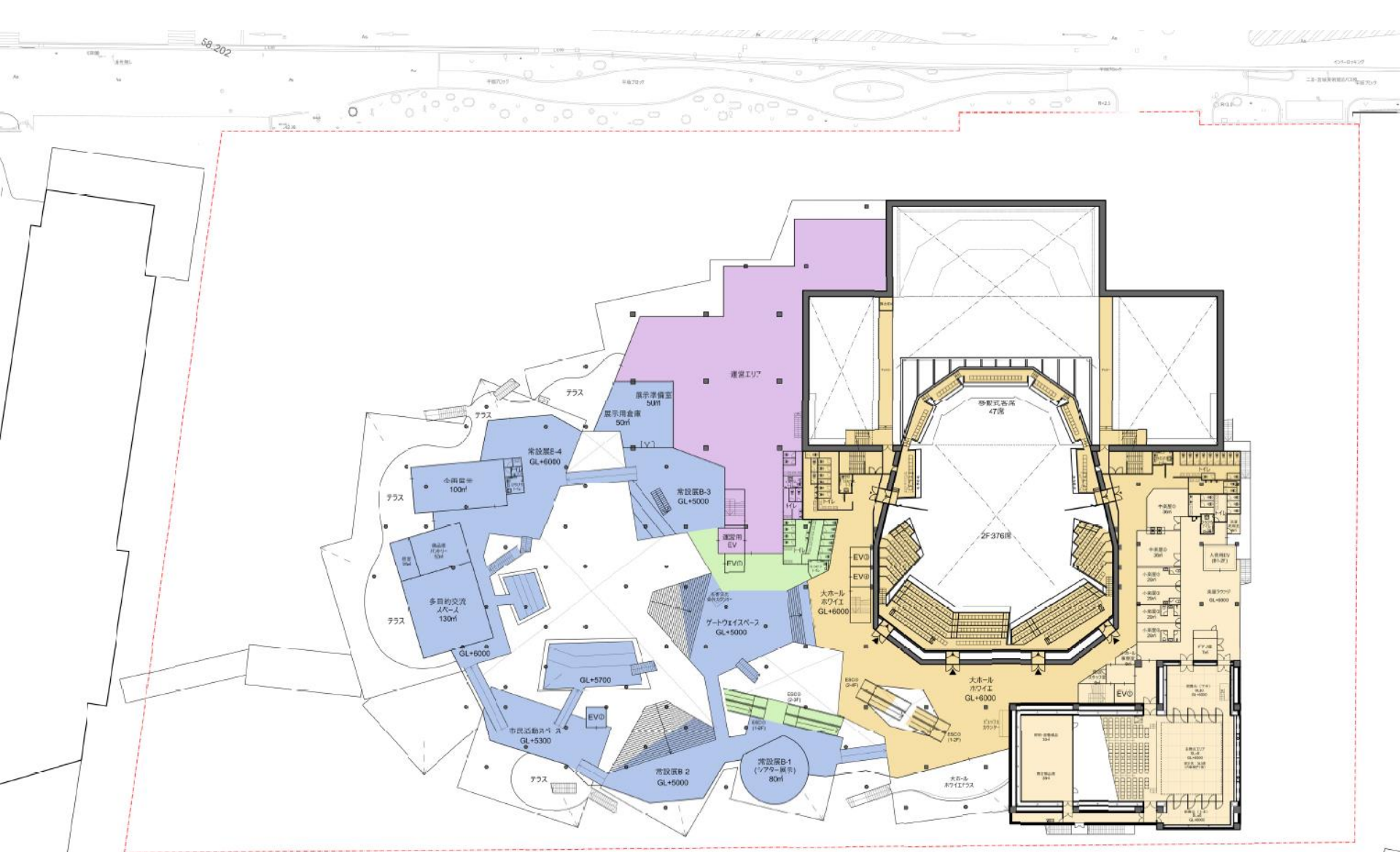
■設計の完了時期

寄せられた意見を踏まえ、中間案の修正を行い、今年度末までに基本設計を完了する見込み

【参考資料】

平面図（地下 1 階～地上 4 階）

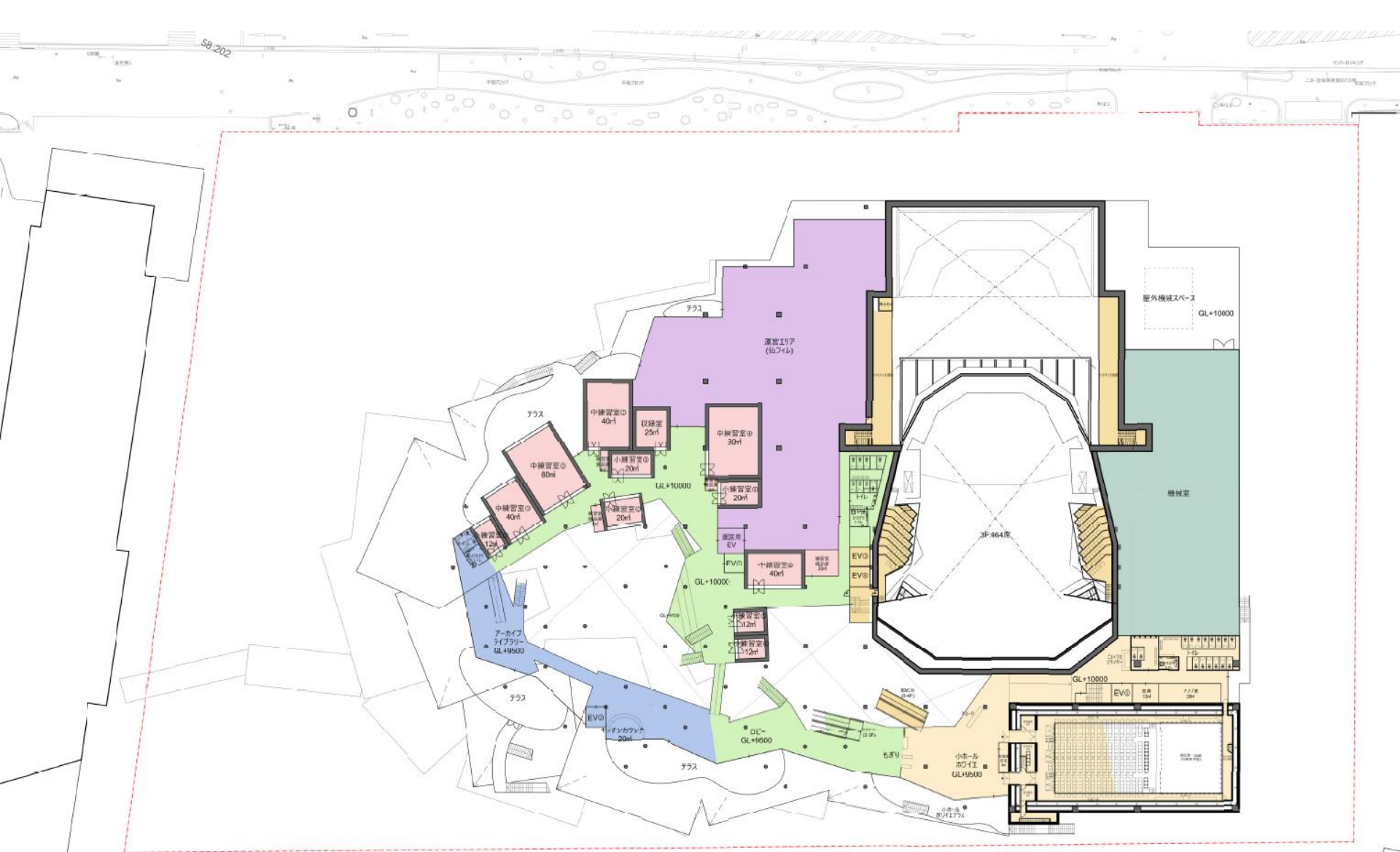




- 凡例
- | | |
|----------|--------|
| ：ホールエリア | ：広場エリア |
| ：文化芸術エリア | ：運営エリア |
| ：災害文化エリア | ：共通エリア |
- ・GL:グラウンドレベル
 地盤面の高さをGL±0と設定し、各部高さ(mm)を表記
 ・EV:エレベーター
 ・ESC:エスカレーター

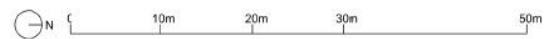
2階 平面図

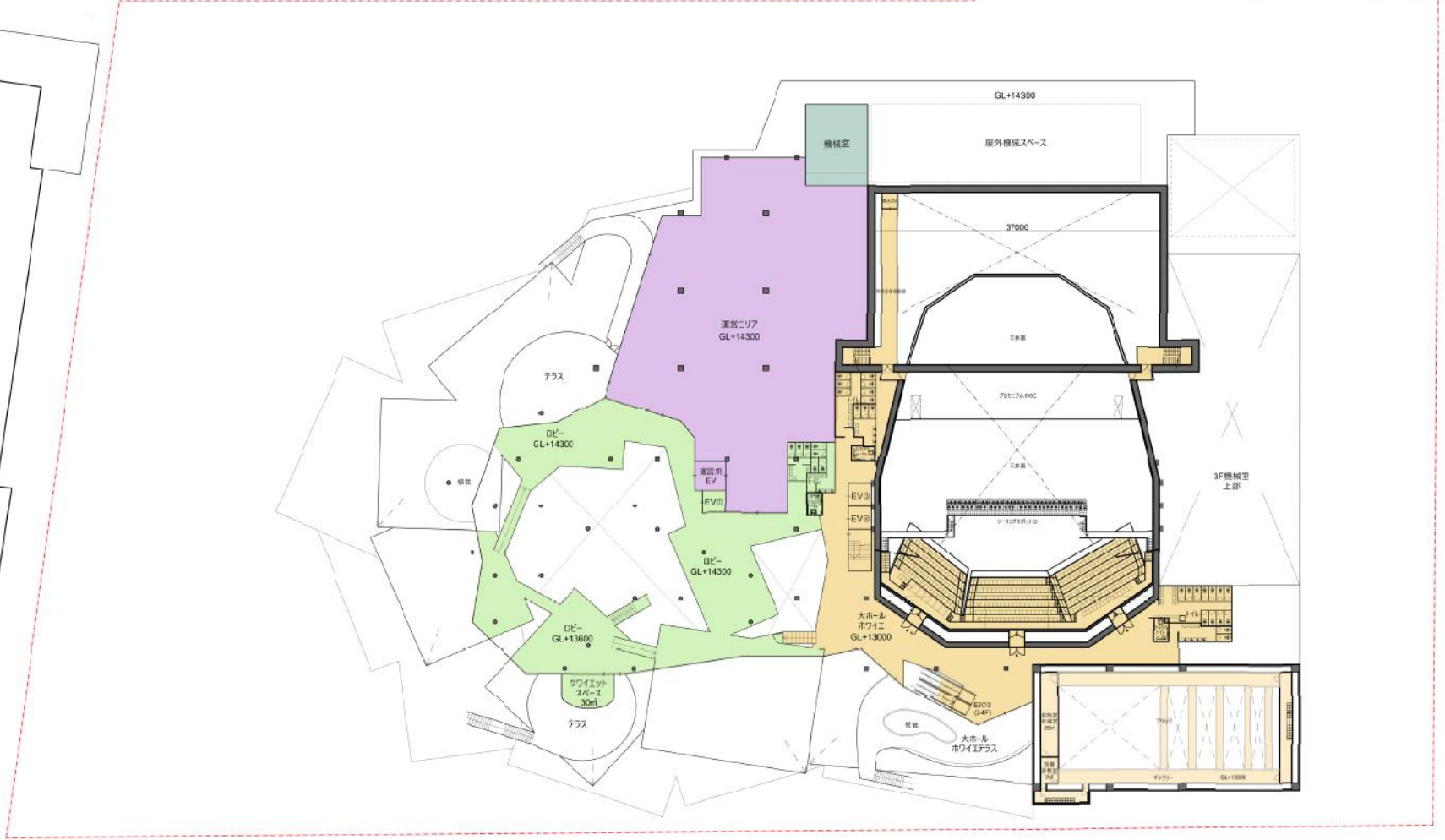
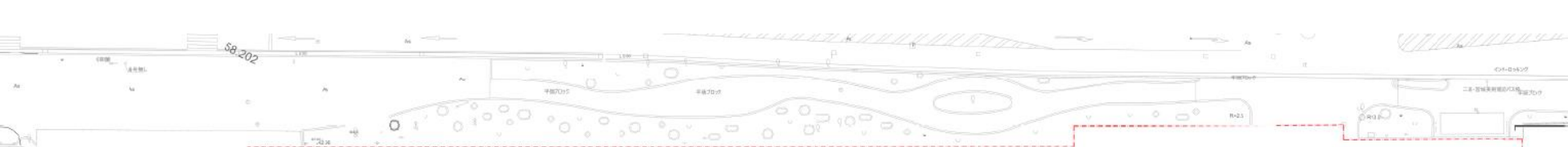




- 凡例
- | | |
|---------|-------|
| ホールエリア | 広場エリア |
| 文化芸術エリア | 運営エリア |
| 災害文化エリア | 共通エリア |
- ・GL:グラウンドレベル
 地盤面の高さをGL±0と設定し、各部高さ(mm)を表記
 ・EV:エレベーター
 ・ESC:エスカレーター

3階 平面図





凡例

ホールエリア	広場エリア
文化芸術エリア	運営エリア
災害文化エリア	共通エリア

・GL:グラウンドレベル
 地盤面の高さをGL±0と設定し、各部高さ(mm)を表記
 ・EV:エレベーター
 ・ESC:エスカレーター

4階 平面図

